



## AIR断震 倶楽部通信 48

世界初！空気ので家を浮かす！  
揺れない家が家族を守る



「究極の地震対策住宅」の株式会社三誠AIR断震システムです。  
株式会社三誠AIR断震システムは、株式会社三誠のグループ会社です。  
両社の担当者とお刺交換させていただいた方々に配信しております。  
※このメールはテキストメールでもご覧になれますが、HTML形式で配信しております。

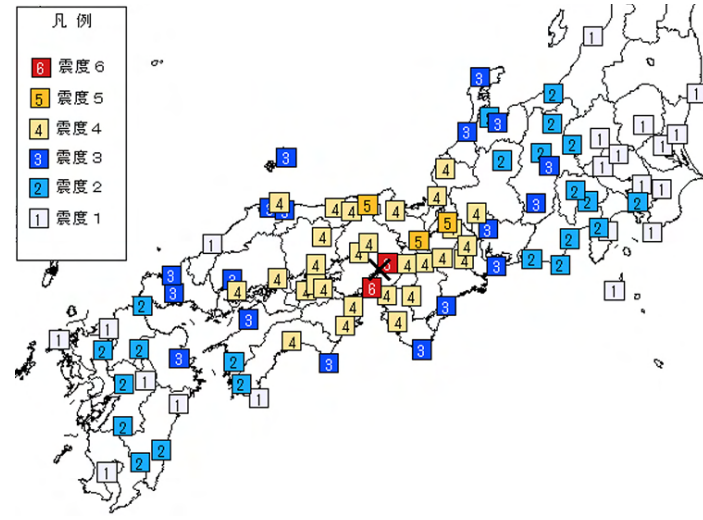
## 阪神・淡路大震災から 30年 たくさんの教訓を残し、暮らしを変えた



写真提供：神戸市  
阪神淡路大震災 1.17 のつどい「竹灯ろう」

1995年1月17日の午前5時46分ごろ、兵庫県の淡路島北部沖の明石海峡を震源とする、マグニチュード7.3、最大震度7の兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）が発生しました。この地震による死者は6434人、負傷者は4万3792人という大きな災害でした。大きな地震だったので、図のように東北地方南部から九州までの広範囲な地域で地震の揺れが観測されました。当時の震度7は地震計ではなく、後の現地調査で決定していました。

### 兵庫県南部地震による各地の震度 ※震度7の地域はHPに別記載



### ＜地震をきっかけに変わったこと、新たに生まれたもの＞

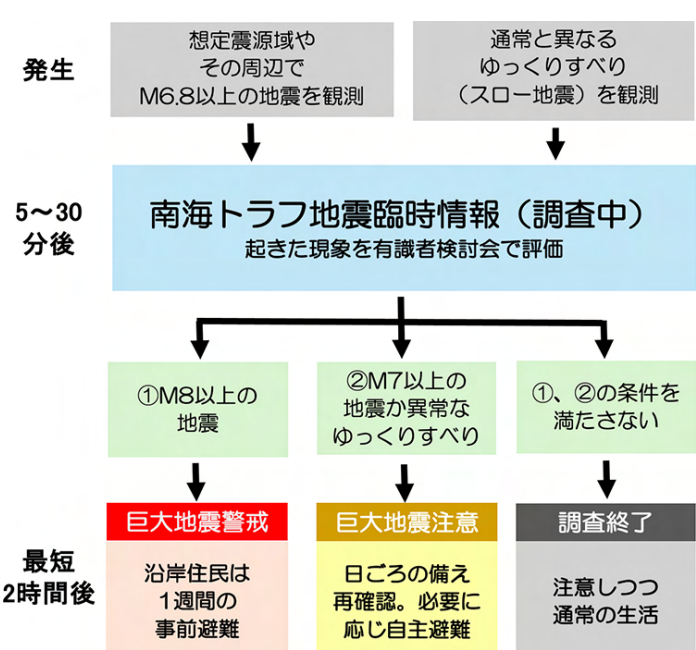
今年が阪神・淡路大震災から30年という節目の年ですが、この震災の教訓から、次のような生活に関わる多くの変化が生まれました。

- 震度階級が8階級から10階級へ
- カセットコンロ・ボンベの規格統一
- 水道レバーが「下げると出る」上げ止め式から「下げると止まる」下げ止め式が主流に
- 災害復興ボランティアが一般化
- 厚生労働省の災害派遣医療チーム（DMAT）発足
- 消防救助機動部隊（ハイパーレスキュー隊）発足
- 新耐震基準が新・新耐震基準（2000年基準）へ
- 地震保険の加入者増加

詳しくはHPへ▶

## 1月13日に日向灘で M6.9 の地震 南海トラフ地震臨時情報は「調査終了」に

### 南海トラフ地震臨時情報の主な流れ



1月13日の夜9時19分ごろ、宮崎県の日向灘でマグニチュード6.9の地震（最大震度5弱）が発生し、昨年の8月8日に続き「南海トラフ地震臨時情報（調査中）」が出されました。地震発生後すぐに有識者による検討会が開かれましたが、「今回の地震は、南海トラフ地震の発生可能性が平常時と比べて相対的に高まったと考えられる現象ではない」ということで「調査終了」が出されました。しかし、この地域では2009年4月以降、震度4以上の地震が17回発生。今年に入ってから震度1以上の地震が17回も発生しています。今回の地震の翌日には、マグニチュード5.4（最大震度4）の地震が起きているので、南海トラフの西端にある日向灘ではまだ警戒が必要です。

詳しくはHPへ▶

## 地震が起きたその時、家を浮上させいのちと家財を守る！

### 「エアー断震システム」

地震の揺れを感知すると瞬時にセンサーが作動。エアータンクから空気を送り込んで家を浮かせ、揺れを建物に伝えづらくします。

震度7の揺れを約1/30に軽減



▲国立研究開発法人 防災科学研究所での実証実験の様子  
震度7を想定した住宅の浮上実験をご覧ください。

詳しくはHPへ▶

「AIR断震倶楽部通信」  
バックナンバーはこちらから▶

バックナンバー▶

「エアー断震システム」  
詳しい資料請求はこちらまで▶

資料請求▶

「エアー断震システム」  
の効果を体感してみませんか。  
関東に4カ所体験できる展示場があります。

展示会場▶

☆☆私たちは、地震災害から一人でも多くの命を守るのに本気です!!  
この思いにご賛同いただける方がいらっしゃいましたら、是非ご紹介ください。  
最後までお読みいただき、ありがとうございました。

《送信者》  
株式会社 三誠AIR断震システム  
〒104-0033 東京都中央区新川1-6-1 2 M&Sビル3階  
TEL：03-3551-0272 FAX：03-3551-0273  
info@airdanshin.co.jp https://airdanshin.co.jp

※このメールの内容に関するご意見・ご質問はこちら